

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		福祉電話貸与者助成事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010402				
担当部署		健康福祉部	地域福祉推進課	高齢者・介護保険係	作成担当者名	島立広樹			連絡先	336				
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
			施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進									
			細施策	05	地域自立生活支援									
			事務事業		-									
画	予算事業名	一般経費			会計コード	001	款	03	項	01	目	04	事業	01
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者等（低所得世帯の者）に対して、福祉電話を貸与する。												
	現状と背景 (どうして)	外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者は、コミュニケーションの手段が確保されないことから、社会的孤立に繋がってしまう可能性が高くなってしまったため。												
	目的	対象	受益者 (護のために)	外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者であって低所得世帯の者										
対象		対象 (直接働きかける)	同上											
意図 (どんな状態にしたいか)		外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者宅に、福祉電話を設置することで、コミュニケーションや緊急連絡手段の方法を確保することができる。												
A	手段・方法 (どうやって)	対象者からの申請に基づき、審査し、適当（所得要件、コミュニケーション・緊急連絡手段が福祉電話以外ない）と認められた時は、福祉電話を設置する。												
	N	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
福祉電話が設置される			福祉電話新規設置数	件	当年度中に福祉電話が設置された件数					1				
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		コミュニケーション・緊急通報手段が確保される	福祉電話利用者数	人	継続して福祉電話を使用している者の数					2				

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)	
			事業費等(a)	円	43,792	45,570	25,620	29,091
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	43,792	45,570	25,620	29,091	34,000	
	職員数	人						
状況	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
O	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	
	活動指標	福祉電話新規設置数	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0	0	0
		達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		-	目標	-	-	-	-	-
実績	-		-	-	-	-		
-	達成率	%	-	-	-	-		
	目標	-	-	-	-	-		
成果指標	福祉電話利用者数	目標	2	2	2	2	2	
		実績	2	2	2	1	1	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	50.00	50.00	
	-	目標	-	-	-	-	-	
実績		-	-	-	-	-		
-	達成率	%	-	-	-	-		
	備考							

事務事業名	福祉電話貸与者助成事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010402
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	高齢者・介護保険係	作成担当者名	島立広樹	連絡先	336

期	目標	実績	課題
第1期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難
第2期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難
第3期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難
第4期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 現在利用している者の回線使用料を支払うのみの事業となっている。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 新規での設置はなく、事業自体は縮小傾向にあるが、現在の利用者が引き続き利用できるよう、予算は計上していく。	<p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック			レ	レ	2					4					4	C
課題	<p>新規での設置は数年来なく、これまでの利用者も死亡等に伴い、利用中止となり、利用者は減少している。 平成27年4月以降は、1名の利用のみとなり事業の継続について検討する必要性が生じている。</p>															
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	C															
前年度評価シート整理番号	03010454															

総合評価	細施策評価前					細施策評価後					
	高年齢者や独居世帯数は増加していることから、地域には外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者が、福祉電話利用者以外にもいるものと思われるが、各家庭の多くに電話回線が引かれ、携帯電話の普及に伴い、コミュニケーション手段がない中生活されている重度障害者や独り暮らし高齢者は少なくなっており、今後も新規での設置見込は少ないと思われる。	高年齢者や独居世帯数は増加していることから、地域には外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者が、福祉電話利用者以外にもいるものと思われるが、各家庭の多くに電話回線が引かれ、又携帯電話の普及に伴い、コミュニケーション手段がない中生活されている重度障害者や独り暮らし高齢者は少なくなっており、今後も新規での設置見込は少ないと思われる。									
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性					

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦						
拡充	③	⑥	⑨							
現状維持	④	⑧	⑩							
縮小	①									
休廃止										
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性										
改革・改善策	地域に訪問することが多い、保健福祉サービスセンターや民生委員に事業の紹介を行い、ニーズの発見に繋げる。					地域に訪問することが多い、保健福祉サービスセンターや民生委員に事業の紹介を行い、ニーズの発見に繋げる。				

最終評価年月日	平成29年5月11日	最終評価責任者	高齢者・保険課長	両角勝元
---------	------------	---------	----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	民生児童委員活動支援事業費	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03010205
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	小林 靖子
				連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進							
				細施策	06	生涯学習の推進と地域福祉の担い手の育成							
				事務事業	01	民生児童委員活動支援事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域住民の福祉の増進、かかえた問題への援助・指導、行政機関への協力パイプ役等を職務とした民生・児童委員活動を支援をする。											
	現状と背景 （どうして）	社会・経済状況の変化に伴って様々な社会福祉課題が生まれ、問題の広がりや内容の複雑化・高度化されている。民生児童委員はこのような状況を受け止めながら、住民の立場に立ってきめ細やかな相談・援助をしなければいけない。このために地域住民の信頼と期待に応えるよう日々研鑽を重ね、識見の向上に努めなければならない。											
	目的	受益者 （誰のために）	民生児童委員及び協議会										
		対象 （直接働きかける）	同上										
		意図 （どんな状態にしたいか）	地域で福祉の中心的役割として、住民への見守り活動や個別支援活動を行い、地域関係組織との協働・連携を取り、安心して住みつけられる地域づくりのために活動する。										
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員と行政及び民生児童委員相互間の情報交換や連携の強化を図るため民生児童委員協議会役員会（月1回）を開催する。 ・常に識見の向上に努め、あらゆる問題に対応できるよう技術の習得等の資質向上のため各種研修会への参加要請を配布する。 											
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		民生児童委員協議会役員会を開催する	民生児童委員協議会役員会開催数	回	月1回開催する				12				
		各種研修会への参加を要請する	各種研修会参加要請回数	回					20				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		積極的な民生児童委員活動	民生児童委員活動延日数	日	民生児童委員活動記録による人数				20,000				
		民生児童委員としての資質向上を図ってもらう	研修会等参加率	%	各研修会参加率				90				

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算又は決算額）	平成29年度事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	19,019,110	18,323,419	18,299,327	19,428,455
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円	8,098,020	8,092,950	8,092,950	8,262,070	8,257,000	
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職員数	一般財源	円	10,921,090	10,230,469	10,206,377	11,166,385	11,719,000	
	正規職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
状況	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
D O （ ）	活動指標	民生児童委員協議会役員会開催数	目標	回	12	12	12	12
			実績	回	12	12	12	12
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
		各種研修会参加要請回数	目標	回	20	20	20	20
			実績	回	21	20	21	20
		達成率	%	105.00	100.00	105.00	100.00	
	成果指標	民生児童委員活動延日数	目標	日	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績	日	19,544	19,148	17,322	18,000
		達成率	%	97.72	95.74	86.61	90.00	
		研修会等参加率	目標	%	90	90	90	90
			実績	%	87	85	84	90
		達成率	%	96.89	94.00	92.89	100.00	
備考								

事務事業名	民生児童委員活動支援事業費	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010205
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	小林 靖子	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	県外研修の実施、他市町村民生委員との交流会の実施、定例役員会の実施 民生児童委員一斉改選に向けた準備を行う。	県外研修(石巻市民生児童委員協議会との研修)、定例役員会を実施	今後の県外研修の内容をどのように計画するか、研修で得た経験等をいかに委員活動に活用するか
第2期	全体研修の実施、県主催民生児童委員会長研修への参加、定例役員会の実施、 民生児童委員一斉改選に向けた準備を行う。	全体研修・県内研修として福岡寿による講演(障害者支える)を実施、長野県民生児童委員会への参加、定例役員会を実施 民生委員推薦会の開催	全体研修の後に行ったアンケートでは概ね高評価であった。民生児童委員の一斉改選の事務を進める。
第3期	県内研修の実施、県主催民生児童委員研修会への参加、定例役員会の実施 一斉改選に伴う退任感謝状授与式、委嘱式、総会を開催する。	一斉改選に伴う退任感謝状授与式、委嘱式、総会を開催した。	一斉改選後の研修会の実施方法について検討が必要である。
第4期	総会の実施に向けて、平成28年度事業内容の確認、平成29年度事業計画の検討、定例役員会の実施	総会に向けて平成28年度の事業報告、会計報告を作成。また平成29年度の事業計画を立案。一斉改選後の最初の研修会を開催。	平成29年度の事業計画案、予算案に基づく事業の実施について役員との協議を進める。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	民生児童委員の一斉改選により、新任の委員が多くなっています。再任の委員も含めての研修について検討が必要です。また次期の一斉改選において、2期以上継続してもらうための早めの働きかけが課題となります。															
	前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		地域福祉の担い手となる民生児童委員が活動しやすいように、市民との連絡調整、事務的支援を行いました。今後も、民生児童委員の資質向上を支えるため、学習や研修等の機会を出来るだけ利用しやすくなる様に効率良い支援の手法を検討していくことが必要です。								
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		成 果 の 方 向 性 拡 充		②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性 拡 充			
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
	地域住民への支援は依然として多く、相談内容は幅広くはなっているが市の事業費は拡大出来ない。こうした中で、各種研修会の参加率等をあげるため、連絡・通知方法を見直していきます。また、市で実施する研修については、より実務で役立つような研修内容に見直していきます。									
	地域住民への支援は依然として多く、相談内容は幅広くはなっているが市の事業費は拡大出来ない。こうした中で、各種研修会の参加率等をあげるため、連絡・通知方法を見直していきます。また、市で実施する研修については、より実務で役立つような研修内容に見直していきます。									

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井 出 弘
---------	-----------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	日赤奉仕団活動支援事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03010206
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	小林 真琴
				連絡先	303

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進								
				細施策	05	地域自立生活支援								
				事務事業	05	災害時要援護者対応事業								
画	予算事業名				会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	05
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	茅野市赤十字奉仕団事務局として、日本赤十字社との事務連絡窓口や奉仕団活動の推進、支援を担っている。												
	現状と背景 (どうして)	日本赤十字社茅野市地区の事業の一つとして、赤十字奉仕団がある。地域に根ざした活動を通じて、災害救援や福祉活動に取り組むため奉仕団活動の推進、支援を行う必要がある。												
	目的	対象	受益者 (護のために)	茅野市赤十字奉仕団員										
		対象 (直接働きかける)	同上											
意図 (どんな状態にしたいか)		茅野市赤十字奉仕団が地域に根ざした活動を通じて、福祉活動やいざという時の災害救援体制を備える。												
方法	手段・方法 (どうやって)	茅野市赤十字奉仕団長の指揮の下、市内全地区に分団を配置し赤十字の使命とする人道的な諸活動を身近な社会の中で実践する。又、各分団は有事の場合に備えて、団員の増強を図り連絡体制を整える。 茅野市赤十字奉仕団との情報交換や連携の強化を図るため、役員会を開催する。 赤十字奉仕団員としての確かな活動ができるよう、技術の習得等の質の向上のため、各種研修会や講習会への参加要請を行う。												
	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
市内全地区に分団を置く			茅野市赤十字奉仕団分団数	分団	分団の数				10					
茅野市赤十字奉仕団との打合せ会議開催			茅野市赤十字奉仕団役員会開催数	回	役員会の開催数				6					
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		赤十字奉仕団活動の充実	奉仕活動参加分団数	分団	奉仕団活動を行った分団数				10					

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
			事業費等(a)	円	385,729	50,000	159,128
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職員数	一般財源	円	385,729	50,000	159,128	146,974	299,000
	正規職員	人	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
状況	合計	人	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
	対象(者)数						
	延利用(者)数(b)						
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
活動指標	茅野市赤十字奉仕団分団数	目標	10	10	10	10	10
		実績	10	10	10	10	10
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	茅野市赤十字奉仕団役員会開催数	目標	6	6	6	6	6
		実績	5	5	4	4	6
		達成率	83.33	83.33	66.67	66.67	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-
	成果指標	奉仕活動参加分団数	目標	10	10	10	10
実績			10	10	10	10	10
達成率		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
-		目標	-	-	-	-	-
実績	-	-	-	-	-		
達成率	-	-	-	-	-		
備考							

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保護司会事務局事務			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010203						
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303						
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり										
			施策	07	第7節 生活支援と社会保障の充実										
			細施策	01	生活支援の充実										
			事務事業	02	各種援護事業										
画	予算事業名					会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		茅野市保護司会の運営に関する事務局事務 ・茅野市保護司会の事業 役員会・理事会 定期総会 各部による活動（総務部・研修部・犯罪予防活動部・広報部） 更生保護大会への参加 各運動への協力（社会を明るくする運動・青少年を非行から守る運動・青少年健全育成活動）												
	現状と背景 (どうして)		地域社会における連帯感の減少や人間関係の希薄化等、社会情勢は大きく変化している。社会奉仕の精神をもって、犯罪を犯した者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪予防のため世論の啓発に努める保護司の活動を推進、支援するために茅野市では事務局を引き受けている。												
	目	対象	受益者 (護のために)	保護司会											
対象		対象 (直接働きかける)	保護司												
L	的	意図 (どんな状態にしたいか)	保護司会活動が円滑に行えるようにする。												
		手段・方法 (どうやって)	茅野市保護司会の運営に関する事務局事務を行う ・計画に基づく各種研修会への参加要請（会議室予約、開催通知の発送、参加人員の把握、資料等の準備など） ・保護司会の事業が円滑に行われるよう援助 ・保護司会の組織力を高めるよう役員との連携を図り、役員会の開催												
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値							
		保護司会活動を促進するため役員会等の開催	会議等開催回数	回	茅野分区保護司会役員会等の開催回数			10							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値							
	保護司会の活動の充実	活動日数	日	茅野分区保護司会活動日数			24								

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円	189,800	203,300	230,300	230,300	297,800	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	189,800	203,300	230,300	230,300	297,800	
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
対象(者)数	人	21	18					
延利用(者)数(b)	人	21	18					
単位コスト(a)/(b)	円	9,038	11,294	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	3.00	4.00	4.00	4.00	12.00		
O D	活動指標	会議等開催回数	目標	回	10	10	10	10
			実績	回	8	8	9	10
	達成率	%	80.00	80.00	90.00	90.00	100.00	
	目標	—						
	実績	—						
	達成率	%	—	—	—	—	—	
成果指標	活動日数	目標	日	24	24	24	24	
		実績	日	24	24	24	24	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標	—						
実績	—							
達成率	%	—	—	—	—			
備考								

事務事業名	保護司会事務局事務	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03010203
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	諏訪地区保護司会総会への支援や社会を明るくする運動強調月間(7月)に向けた準備の支援を行います。	諏訪地区保護司会総会資料の作成支援、社会を明るくする運動実施に伴う街頭啓発等の準備を行いました。	社会を明るくする運動強調月間の準備、更生保護女性会との合同事業の準備を進める。
第2期	社会を明るくする運動の実施(街頭啓発、作文コンテスト等)、更生保護女性会との合同事業を実施します。	社会を明るくする運動(街頭啓発、作文コンテスト作品応募学校依頼等)を実施しました。更生保護女性会と保護司会の合同事業の支援をしました。	長野県更生保護大会、更生保護女性の集いに向けた支援の実施。保護司会・更生保護女性会県外研修視察への支援実施。
第3期	長野県更生保護大会、更生保護女性の集いに向け支援を行います。保護司会・更生保護女性会県外研修視察への支援実施します。	長野県更生保護大会、更生保護女性の集い参加に向け支援を行いました。保護司会・更生保護女性会県外研修視察への支援実施しました。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式準備等の支援をします。
第4期	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式、支部総会を開催するための支援をします。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式の支援を実施しました。支部総会を開催するための支援を実施しました。	平成27年度の支部総会、分区総会、地区総会に向けた準備等の支援をします。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 特になし	<table border="1"> <tr> <td>方向性</td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大		コスト投入の方向性														
方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大																		
	コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課題	保護司会が行うことと事務局が行うことを分担し、会の自主的運営を支援することで、より効率のよい事務局事務の執行が図ることができるように進めています。															記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 03010206

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	保護司会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司の任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。						保護司会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司の任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司の役割は大きくなり、負担が大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、保護司活動の支援として行政の保護司会事務局事務活動の継続が必要です。諏訪地区サポートセンターの運営について連携、支援をします。						社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司の役割は大きくなり、負担が大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、保護司活動の支援として行政の保護司会事務局事務活動の継続が必要です。諏訪地区サポートセンターの運営について連携、支援をします。			
今後の方向性										

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井出弘
---------	-----------	---------	--------	-----

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	更生保護女性会事務局事務			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010204
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり			
			施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進				
			細施策	05	地域自立生活支援				
			事務事業	02	地域生活支援事業				
予算事業名								会計コード	001 款 03 項 01 目 01 事業 03
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市更生保護女性会の運営に関する事務局事務 ・更生保護女性会の事業 役員会 定期総会 各地区による活動 地域社会浄化活動 更生保護大会への参加 各運動への協力（社会を明るくする運動・青少年を非行から守る運動・青少年健全育成活動）								
現状と背景 （どうして）	地域社会における連帯感の減少や人間関係の希薄化等、社会情勢は大きく変化している。社会奉仕の精神をもって、保護司会と両輪として更生を助けるとともに、犯罪予防のため世論の啓発に努める活動を推進、支援するために茅野市では事務局を引き受けている。								
目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 更生保護女性会							
	対象 （直接働きかける）	更生保護女性会							
	意図	更生保護活動が円滑に行えるようにする。							
手段・方法 （どうやって）	茅野市更生保護女性会の運営に関する事務局事務を行う ・計画に基づく総会等への参加要請（会議室予約、開催通知の発送、参加人員の把握、資料等の準備など） ・更生保護女性会の事業が円滑に行われるよう援助 ・更生保護女性会の組織力を高めるよう役員との連携を図る。								
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値	
		更生保護活動の推進のためのミニ集会の開催	ミニ集会の開催	回	市内のミニ集会開催回数			7	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値	
		更生保護女性会員数を増やす	更生保護女性会員数	人	茅野市更生保護女性会員数			235	

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源	円	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
職員数	正規職員	人				
	嘱託職員	人				
	臨時職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10
	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	2.00	2.00	2.00	2.00	6.00
活動指標	ミニ集会の開催	目標	7	7	7	7
		実績	5	4	4	7
	達成率	%	71.43	57.14	57.14	100.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	
成果指標	更生保護女性会員数	目標	235	235	235	235
		実績	235	235	235	235
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	
備考	平成25年度茅野市からの補助金8万円を新たにいただき、社会福祉協議会から交付されていた補助金8万円を交付元を茅野市にまとめ、併せて13万円を茅野市から交付を受けることとなりました。					

事務事業名	更生保護女性会事務局事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010204
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	茅野市更生保護女性会総会の準備と開催への支援。	茅野市更生保護女性会総会の準備と開催の支援をしました。	研修会事業の実施への支援をする。
第2期	研修会開催への支援をする。	市内各地区で開催する防犯寸劇や薬物乱用防止などの会の活動支援を行いました。	長野県更生保護女性のつどい参加の支援、県外研修視察の支援を行う。
第3期	長野県更生保護女性のつどい参加の支援、県外研修視察の支援を行う。	市内各地区で開催する防犯寸劇や薬物乱用防止などの会の活動支援を行いました。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰の支援、総会開催に向けての支援を行う。
第4期	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰の支援、総会開催に向けての支援を行う。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰の実施、総会開催に向けての準備の支援を行いました。	総会開催に向けての準備の支援を行う。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 特になし	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					4					4	A	
チェック																	
課題	更生保護女性会が行うことと事務局が行うことを分担し、会の自主的運営を支援することで、より効率のよい事務局事務の執行が図ることができるように研究する余地があります。															記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
課題																前年度総合評価判定	A
課題																前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	更生保護女性会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司のとの両輪として活動を任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。						更生保護女性会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司のとの両輪として活動を任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司や更生保護女性会の役割は大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、更生保護女性会の事務局の継続が必要です。事務局と更生保護女性会の役割を明確にし自主的運営を支援します。						社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司や更生保護女性会の役割は大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、更生保護女性会の事務局の継続が必要です。事務局と更生保護女性会の役割を明確にし自主的運営を支援します。			
今後の方向性	成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦	成果の方向性	拡充			
		現状維持	③	⑥	⑨		現状維持			⑨
		縮小	④	⑧	⑩		縮小			
		休廃止	①				休廃止			
		皆減			縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性								

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井出弘
---------	-----------	---------	--------	-----

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	社会福祉協議会助成事業（交付金）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010210								
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303								
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり											
			施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進												
			細施策	05	地域自立生活支援												
			事務事業	02	地域生活支援事業												
予算事業名								会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	07
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	各種団体の自立支援及び活動支援、各種団体と連携し地域福祉の推進を図ることを目的に助成金を交付する事業。																
現状と背景 （どうして）	地域福祉を推進する団体を対象に交付すべく、社会福祉協議会に交付し、社会福祉協議会から社会福祉に貢献する団体の交付するものです。																
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	地域の社会福祉活動団体															
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）	社会福祉協議会															
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	社会福祉活動団体が連携し地域福祉活動の推進をする状態。															
手段・方法 （ ど う や っ て ）																	
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
		交付金交付額	交付金額	円	地域の社会福祉団体への交付金額			320,000									
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
		社会福祉団体の会員数	会員数	人	交付団体の会員数			750									

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	320,000	320,000	320,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	320,000	320,000	320,000	130,000	130,000
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	6.00	6.00	6.00	2.00	4.00
	交付金額	円	320,000	320,000	320,000	130,000	130,000
活 動 指 標	実績	円	320,000	320,000	320,000	130,000	130,000
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	目標						
	実績						
	達成率	%	-	-	-	-	-
	達成率	%	-	-	-	-	-
成 果 指 標	会員数	人	750	750	750	750	750
	実績	人	707	608	608	568	600
	達成率	%	94.27	81.07	81.07	75.73	80.00
	達成率	%	-	-	-	-	-
備 考	目標						
	実績						
	達成率	%	-	-	-	-	-

事務事業名	社会福祉協議会助成事業（交付金）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010210
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	交付金交付事務を行う。	交付交付を行いました。	次年度予算に向けて検討準備。
第2期	次年度予算に向けて検討準備。	補助金交付額について、予算額算定のための負担割合の検討を進めました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて予算額算定の検討。	補助金交付団体の状況調査を行い、前年同様の予算要求をしました。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算額計上に向けて、予算額算定の検討。	前年と同様の予算額として決定しました。	次年度予算に向けて、補助金交付対象ボランティア団体について精査を進める。

事中評価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦													
	現状維持		③	⑥	⑨													
	縮小		④	⑧	⑩													
	休廃止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 特になし	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性												
皆減	縮小	現状維持	拡大															
コスト投入の方向性																		

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック					4					4					4	
課題	団体への補助金交付について、市と社会福祉協議会どちらが補助するかの検討が必要である。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定					B					前年度評価シート整理番号					

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	助成金交付について、市と社会福祉協議会が担う業務の見直しを行う。	助成金交付について、市と社会福祉協議会が担う業務の見直しを行う。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦	拡充			
現状維持			③	⑥	⑨	現状維持			レ	
縮小			④	⑧	⑩	縮小				
休廃止		①				休廃止				
	皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	平成29年度の助成金交付について、対象団体への補助を社会福祉協議会が行うべきかどうかの検討を行い、見直しを行う。					平成29年度の助成金交付について、対象団体への補助を社会福祉協議会が行うべきかどうかの検討を行い、見直しを行う。				

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井出弘
---------	-----------	---------	--------	-----

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	コミュニティ運営協議会負担金			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010201							
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303							
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり										
			施策	02	第2節 パートナーシップのまちづくりの推進											
			細施策	01	地域コミュニティづくりの推進											
			事務事業	03	地区コミュニティ運営協議会の運営事業											
予算事業名							会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	03
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地区コミュニティ活動の一つとして、地区社会福祉協議会が進められています。地区社会福祉協議会の活動支援のため負担金を交付します。															
現状と背景 （どうして）	地区コミュニティによる地域福祉の増進は重要な課題です。地域福祉の活動と目標となる地域福祉行動計画を策定し、これを実践していくなどまちづくりを進めるため地区社会福祉協議会の活発な活動が必要となっています。															
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	地区社会福祉協議会														
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	地区社会福祉協議会														
	意図	地域福祉行動計画の推進等により地域福祉の推進を図る。														
手段・方法 （ ど う や っ て ）	コミュニティ運営協議会															
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など						最終目標値					
		行動計画の推進	会議開催回数	回	行動計画に関する会議等						98					
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など						最終目標値					
		支え合いマップ	マップ作成率	%	マップ作成数 / 行政区・自治会（98）						100					

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
対 象 （ 者 ） 数	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	41.00	41.00	41.00	41.00	43.00	
	活動指標	会議開催回数	目標	98	98	98	98	98
		実績	75	75	76	76	98	
	-	達成率	%	76.53	76.53	77.55	77.55	100.00
目標		-						
-	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	マップ作成率	目標	100	100	100	100	100	
		実績	71	72	72	75	75	
	達成率	%	71.00	72.00	72.00	75.00	75.00	
	-	目標	-					
-	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	コミュニティ運営協議会負担金	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010201
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	負担金交付の資料作成等準備を行い交付する。	負担金交付の資料作成等準備を行い交付しました。	次年度交付について検討準備。
第2期	申請に基づく負担金交付事務の実施。次年度交付について検討準備。	申請に基づく負担金交付事務の実施。次年度交付について検討準備。	次年度交付について検討準備。
第3期	申請に基づく負担金交付事務の実施。次年度交付について検討準備。	申請に基づく負担金交付事務の実施。次年度交付について検討準備。	次年度予算計上に向けて、負担金のあり方や額等を検討。
第4期	次年度予算計上に向けて、負担金のあり方や額等を検討。	次年度負担金の額を決定しました。	名称は変更したが、実態が事業への負担金となるよう検討が必要。

事中評価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦													
	現状維持		③	⑥	⑨													
	縮小		④	⑧	⑩													
	休廃止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 特になし	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性												
皆減	縮小	現状維持	拡大															
コスト投入の方向性																		

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック					4					4					4	
課題	第2次福祉21ピーンプランの大きな柱は、より身近な地域での福祉活動の推進です。地域の力による、一層の地域福祉の実現には、地域で話し合い・検討を行い、具体的に実践する福祉活動の実践が必要です。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定																A
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	多くの地区で、ささえあいマップの作成が進みその更新もされています。ささえあいマップに限らず日頃の助け合いやあいさつ運動等が少しずつ浸透しています。						多くの地区で、ささえあいマップの作成が進みその更新もされています。ささえあいマップに限らず日頃の助け合いやあいさつ運動等が少しずつ浸透しています。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後				
	より多くの地域の皆さんが地域福祉行動計画を実践していけるよう地域の人への働きかけや周知の方法の検討が必要です。						より多くの地域の皆さんが地域福祉行動計画を実践していけるよう地域の人への働きかけや周知の方法の検討が必要です。			
今後の方向性										
改革・改善策										

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井出弘
---------	-----------	---------	--------	-----

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	社会福祉協議会（小地域福祉活動推進事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03010209
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人
				連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進
				細施策	05	地域自立生活支援
				事務事業	03	小地域福祉活動推進支援事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 01 目 01 事業 07
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域住民がお互い様の心で支えあうことができる地域づくりを目指して、福祉意識の醸成と住民が地域活動に気軽の参加できる仕組みづくりを進めます。この事業は社会福祉協議会が実施していますが、市内4か所の保健福祉サービスセンターの職員として、行政と連携・協働し推進しています。市は、補助金を交付し本事業を支援しています。				
	現状と背景 （どうして）	生活課題を抱えた人が地域で安心して暮らし続けられるよう、行政等の専門機関だけでなく、身近な地域の住民が手助けできるような働きかけと環境整備が必要です。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	茅野市社会福祉協議会			
		意図	市民ニーズに対応した幅広い福祉活動を展開できるようにする。			
	手段・方法 （どうやって）	茅野市社会福祉協議会				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		行動計画の推進	会議開催回数	回	行動計画に関する会議等	98
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		支え合いマップ	マップ作成率	%	マップ作成数 / 行政区・自治会（98）	100

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	2,326,000	2,311,000	26,025,000	19,482,000	20,660,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	2,326,000	2,311,000	26,025,000	19,482,000	20,660,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	41.00	41.00	467.00	351.00	374.00	
D （ ）	活動指標	会議開催回数	目標 回	98	98	98	98
		実績	72	72	72	72	
	達成率 %	73.47	73.47	73.47	73.47	73.47	
	-	目標	-				
-	実績	-					
-	達成率 %	-	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	マップ作成率	目標 %	100	100	100	100
		実績	72	72	72	75	75
	達成率 %	72.00	72.00	72.00	75.00	75.00	
	-	目標	-				
-	実績	-					
-	達成率 %	-	-	-	-	-	
備考	H21.22は主に行動計画策定のための会議数、行動計画ができたのでH23は計画推進・進行管理のための会議数に指標が変更になりました。 H22 ちの9 宮川6 豊平2 泉野2 H23ちの2 宮川8 米沢11 豊平13 玉川8 泉野6 金沢7 湖東12 北山7 中大塩7 H24 ちの3 宮川10 米沢10 豊平13 玉川9 泉野6 金沢6 湖東6 北山6 中大塩6						

事務事業名	社会福祉協議会（小地域福祉活動推進事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010209
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	補助金交付事務を行う。	補助金交付を行いました。	次年度予算に向けて検討準備。
第2期	次年度予算に向けて準備。	次年度の社会福祉協議会助成事業について、社会福祉協議会との協議を行いました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて予算額算定の検討。	次年度の社会福祉協議会助成事業について、社会福祉協議会との協議を行いました。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算額計上に向けて、予算額算定の検討。	次年度予算額について社会福祉協議会と協議を行い確定しました。	助成事業の今後の方向性を決定するために、社会福祉協議会と協議を行い検討が必要。

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今 成 拓 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後 果 の 現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の 方 向 性 縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性 休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 成 拓 充	②	⑤	⑦	後 果 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨	の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩	方 向 性 休 廃 止	①		
今 成 拓 充	②	⑤	⑦														
後 果 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨														
の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩														
方 向 性 休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1					2					3					4					
	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定						
チェック					4					4					レ	3	B				
課題	平成29年度予算で人員配置の見直しによる助成額の増額をした。今後も社会福祉協議会への事業支援のあり方の検討をし、効率的かつ効果的な支援ができるよう社会福祉協議会と協議を進めることが必要である。次年度において、今後の助成事業の方向性を決定する必要がある。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号					
前年度総合評価判定																					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	平成29年度は、人員配置の見直しにより助成額が増額となった。事業費補助としているが、人員配置によって助成額が変動することから今後の方向性を決定する必要がある。										平成29年度は、人員配置の見直しにより助成額が増額となった。事業費補助としているが、人員配置によって助成額が変動することから今後の方向性を決定する必要がある。				
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拓 充	②	⑤	⑦	今 成 拓 充					
	後 果 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨	後 果 の 現 状 維 持	レ				
の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩	の 方 向 性 縮 小						
方 向 性 休 廃 止	①			方 向 性 休 廃 止						
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	当年度に行った見直しをさらに進め、福祉21ピナズプランに沿った活動展開について精査し、効率的かつ効果的な支援ができるよう検討を進めることが必要と考える。									

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井出弘
---------	-----------	---------	--------	-----

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	社会福祉協議会助成事業（法人運営事業）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010208				
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
			施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進								
			細施策	08	第2次福祉21ビーンズプランの推進								
			事務事業	01	第2次福祉21ビーンズプラン推進事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	社会福祉事業の健全な発達、社会福祉活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的に設立された茅野市社会福祉協議会が、市民に対する地域福祉サービスを総合的に提供できるよう支援する。											
	現状と背景 （どうして）	茅野市社会福祉協議会は協議会を運営するための財源に乏しく、その設立趣旨からも行政と密接な関係がある。地域福祉・在宅福祉の充実、社会福祉協議会の組織・財政基盤の強化、住民参加による体制整備のため支援を行う。											
	目的	対象	福祉ニーズを必要としている市民										
		対象	茅野市社会福祉協議会										
		意図	市民ニーズに対応した幅広い福祉活動を展開できるようにする。										
	手段・方法 （どうやって）	茅野市社会福祉協議会											
N （ ）	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値			
			社会福祉協議会との事業実施についての会議	会議回数	回	社会福祉協議会との会議を重ね、よりよい事業を実施する。				6			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
			対象人件費の負担割合	負担割合	%	負担額/対象人件費				70			

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	66,210,000	59,136,000	35,850,000	31,168,000	41,290,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	66,210,000	59,136,000	35,850,000	31,168,000	41,290,000
職員数							
正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	1,179.00	1,056.00	643.00	561.00	747.00
活動指標	会議回数	目標	6	6	2	2	2
		実績	4	6	2	2	2
	達成率	%	66.67	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—	—
実績		—	—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	—	
	目標	—	—	—	—	—	
成果指標	負担割合	目標	70	70	70	70	70
		実績	70	70	70	70	70
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—	—
実績		—	—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	—	

備考 平成29年度からの人員配置の見直しにより、法人運営事業への補助額が増加している。

事務事業名	社会福祉協議会助成事業（法人運営事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010208
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	補助金交付事務を行う。	補助金交付を行いました。	次年度予算に向けて検討準備。
第2期	次年度予算に向けて準備。	次年度の社会福祉協議会助成事業について、社会福祉協議会との協議を行いました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて予算額算定の検討。	次年度の社会福祉協議会助成事業について、社会福祉協議会との協議を行いました。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算額計上に向けて、予算額算定の検討。	次年度予算額について社会福祉協議会と協議を行い確定しました。	助成事業の今後の方向性を決定するために、社会福祉協議会と協議を行い検討が必要。

事 中 評 価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今 後 の 方 向 性</td> <td>成 果 的 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦													
	現 状 維 持		③	⑥	⑨													
	縮 小		④	⑧	⑩													
	休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1					2					3					4						
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定							
チェック					4					4					4					レ	3	B
課題	平成29年度予算で人員配置の見直しによる助成額の増額をした。今後も社会福祉協議会への事業支援のあり方の検討をし、効率的かつ効果的な支援ができるよう社会福祉協議会と協議を進めることが必要である。次年度において、今後の助成事業の方向性を決定する必要がある。															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																B						
前年度評価シート整理番号																						

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	平成29年度は、人員配置の見直しにより助成額が増額となった。事業費補助としているが、人員配置によって助成額が変動することから今後の方向性を決定する必要がある。										平成29年度は、人員配置の見直しにより助成額が増額となった。事業費補助としているが、人員配置によって助成額が変動することから今後の方向性を決定する必要がある。									
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性														

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充												
		現 状 維 持		③	⑥	⑨		レ	現 状 維 持											
縮 小			④	⑧	⑩			縮 小												
休 廃 止		①						休 廃 止												
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										
改革・改善策	当年度に行った見直しをさらに進め、福祉21ピナズプランに沿った活動展開について精査し、効率的かつ効果的な支援ができるよう検討を進めることが必要と考える。										当年度に行った見直しをさらに進め、福祉21ピナズプランに沿った活動展開について精査し、効率的かつ効果的な支援ができるよう検討を進めることが必要と考える。									

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井 出 弘
---------	-----------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	戦没者等合同追悼式開催事業	事業期間	平成 1 ~ 年度	整理番号	03010215
担当部署	健康福祉部 地域福祉推進課 福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり
				施策	04	第4節 安心なまちづくりの推進
				細施策	02	平和で安心な社会づくり
				事務事業	01	非核平和事業の推進事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 01 目 01 事業 14
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	戦没者諸霊のご冥福を祈り、戦争のない恒久な平和の確立に積極的に貢献し、誰もが心豊かに暮らせる社会を築き上げることを目的に実施。戦没者追悼式を茅野市民館において開催、戦没者の追悼を行う。				
	現状と背景 （どうして）	平成25年度まで社会福祉協議会主催で実施し、行政として補助金を交付していた。平成26年度から市が主催となり式典を開催することとなった。				
	目的 対象 （誰のために）	市民				
	対象 （直接働きかける）	市民				
	目的 意図 （どんな状態にしたいか）	戦没者の諸霊のご冥福を祈り、誰もが心豊かに暮らせる社会となるよう多くの市民に参加いただけるようになる。				
	手段・方法 （どうやって）	社会福祉協議会				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	活動指標	開催周知広報回数	広報回数	回	一般への実施についての広報活動	2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		式参加者数	参加者数	人	参加者数	200

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	309,000	288,681	303,038	300,458	319,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	309,000	288,681	303,038	300,458	319,000		
職員数	人	0.01	0.05	0.05	0.05	0.05		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.01	0.05	0.05	0.05	0.05		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	6.00	5.00	5.00	5.00	13.00		
D （ ）	活動指標	広報回数	目標	回	2	1	1	1
			実績	回	0	1	1	1
	達成率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	-	目標	-				
実績			-					
達成率	%	-	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	参加者数	目標	人	200	200	200	200
			実績	人	200	200	200	200
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	-	目標	-				
実績			-					
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考	平成26年度から市主催事業として開催します。ご遺族は減る状況ですので、今後一般の皆さんが追悼式の趣旨に則り、参加いただくようにすることが大切です。							

事務事業名	戦没者等合同追悼式開催事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010215
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	開催方法等の検討を行う。	前年の準備状況等について確認を行いました。	式典実施の具体的な内容について検討する。
第2期	式典を開催する。	式典を開催しました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて反省点を確認。	次年度予算に向けて反省点を確認。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算計上に向けて、事業内容の検討。	事業内容の検討を行い、予算を決定しました。	次年度戦没者等合同追悼式開催のための準備を進める。

事 中 評 価			
今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	成果の方向性	② ⑤ ⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 特になし	現状維持	③ ⑥ ⑨
		縮小	④ ⑧ ⑩
		休廃止	①
		皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4					4					4	A					
課題	平成26年度から市の事業として開催しています。前年までの反省を踏まえて次年度からの開催内容を検討する。																記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
前年度総合評価判定																A					
前年度評価シート整理番号																					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	平成26年度から市の事業として開催しました。3年実施した反省を踏まえて次年度からの開催内容を検討する。						平成26年度から市の事業として開催しました。3年実施した反省を踏まえて次年度からの開催内容を検討する。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策										
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
改革・改善策					4					4						
課題	平成28年度の反省を踏まえて関係団体である遺族会と相談して、市主催の式典として目的が達成できるようにする。															
前年度総合評価判定																A
前年度評価シート整理番号																

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井出弘
---------	-----------	---------	--------	-----

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	第2次福祉21ピーナスプランの推進			事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	03010101
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名		連絡先	302	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進							
				細施策	08	第2次福祉21ピーナスプランの推進							
				事務事業	01	第2次福祉21ピーナスプラン推進事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	09
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画・平成22年～平成29年）に基づき、社会福祉、保健・医療・生涯学習等の関連施策が総合的に実施されるよう、必要な情報を収集し、各施策の進捗状況を把握するだけでなく、関係機関や各部署同士の必要な連携が図られるよう調整する役割を果たします。											
	現状と背景 （どうして）	第2次計画の大きな柱である「より身近な地域での地域福祉の展開」を図るため、地域のさまざまなニーズに対応できるように、関係部署が連携・協働できる体制を構築する必要があります。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民									
		対象 （直接働きかける）	保健・医療・福祉にかかわる関係機関（福祉21茅野など）や関係部署、地域で活動する団体、個人。相談支援が必要な人。										
		意図	行政と市民の協働により第2次福祉21ピーナスプランを推進していく体制を構築する。										
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 保健・福祉に関する地域の拠点は保健福祉サービスセンターであり、担当課と保健福祉サービスセンターが連携した円滑な運営と、地域との協働を図るため、職員のスキルアップを目指す。 行政アドバイザーを活用したケアマネジメント研修等を通じて、職員による自主的な研修体制を整える。 ピーナスプランの検証と方向性について、福祉21茅野円卓会議を開催し協議していく。 市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員で、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成し、地区コミュニティ運営協議会等と協働しながら、第2次計画を策定しました。今年度は、策定した第2次計画の推進を進めます。 											
N （ ）	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値				
			職員の資質向上	ピーナスプラン研修開催回数	回				10				
			行政と市民の協働によるプランの推進	福祉21茅野会議の開催	回	福祉21茅野による会議の開催数			15				
			第二次計画策定における地域との合意形成	地区推進会議	回	各地区での推進会議開催数（検証・策定）			16				
	成果指標	成果	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値				
			課題解決・議案の審議	協議した課題等の数	件	福祉21茅野の会議で協議した課題の数			20				
		地域福祉の推進	第二次地域福祉行動計画推進区・自治会数	件	第二次計画を推進する区・自治会数			96					

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算又は決算額）	平成29年度事業計画（予算）		
			事業費等(a)	円		1,376,069	221,620	243,308	613,000
財源内訳	国庫支出金	円							
	県支出金	円							
	地方債	円							
	その他特定財源	円							
職員数	一般財源	円		1,376,069	221,620	243,308	613,000		
	正規職員	人	0.20	1.53	1.33	0.30			
	嘱託職員	人							
	臨時職員	人							
	合計	人	0.20	1.53	1.33	0.30			
状況	対象（者）数								
	延利用（者）数(b)								
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
	受益者負担額	円							
D O （ ）	活動指標	ピーナスプラン研修開催回数	目標	回	10	10	10	5	5
			実績	回	5	3	2	1	5
		達成率	%	50.00	30.00	20.00	20.00	100.00	
		福祉21茅野会議の開催	目標	回	5	15	15	10	10
			実績	回	7	8	6	8	10
		達成率	%	140.00	53.33	40.00	80.00	100.00	
	地区推進会議	目標	回		80	16	16	16	
		実績	回		82	10	10	10	
	達成率	%	-	102.50	62.50	62.50	62.50		
	成果指標	協議した課題等の数	目標	件	3	20	20	20	20
			実績	件	0	15	6	3	20
		達成率	%	0.00	75.00	30.00	15.00	100.00	
第二次地域福祉行動計画推進区・自治会数		目標	件		15	96	96	96	
		実績	件		15	96	96	96	
達成率		%	-	100.00	100.00	100.00	100.00		
備考	平成26年度から主要事務事業を1つにまとめました。								

事務事業名	第2次福祉21ピーナスプランの推進	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	03010101
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	連絡先	302

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・職員(行政・社協)対象ピーナスプラン研修の開催。 ・買い物弱者(移動販売)の交通手段等アンケートの集計と報告	・職員(行政・社協)対象福祉21ピーナスプラン研修の実施 ・買い物弱者(移動販売)の交通手段等アンケートの集計を終了し、福祉21茅野及び買い物弱者問題検討議員連盟に報告	・買い物弱者問題を含めた地域包括ケアシステムの検討を進める。
第2期	・福祉21茅野・移動販売事業者・買い物弱者問題検討議員連盟との意見交換の開催。	・福祉21茅野・移動販売事業者・買い物弱者問題検討議員連盟との意見交換を開催。	・買い物弱者問題を含めた地域包括ケアシステムの検討を進め、第3次福祉21ピーナスプラン策定につなげていく。
第3期	・福祉21茅野円卓会議の開催 ・福祉21茅野、どんぐりネットワーク茅野との意見交換の開催	・福祉21茅野円卓会議を開催し、部会の再編成について確認。 ・ピーナスプランとどんぐりプランとの関係性について、福祉21茅野、どんぐりネットワーク茅野との意見交換を実施	・関係性を整理して、第3次福祉21ピーナスプラン策定につなげていく。
第4期	・福祉21茅野、ゆいわく茅野運営委員会との意見交換の開催 ・市民向け啓発活動実施の検討	・福祉21茅野生活支援部会を立ち上げ、買い物弱者問題も含めた生活支援を検討する部会とする。 ・市民向け啓発活動(講演会)実施内容を検討	・市民向け啓発活動(講演会)の実施

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					3					4	B
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で行っている第二次地域福祉行動計画の推進について、進捗管理をしていく。 ・第2次福祉21ピーナスプランの現状と課題の整理を行い、第3次福祉21ピーナスプランの策定につなげていく。 															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03010101															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性			

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後										
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	②	③	④	①	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次福祉21ピーナスプランを検証し、根幹となるSCのあり方を検討して、第3次福祉21ピーナスプラン策定につなげていく。 ・必要な研修及び職員による研修を実施しつつ、地域では支援チームによる「第二次地域福祉行動計画」の推進支援を図っていく。 					<ul style="list-style-type: none"> ・第2次福祉21ピーナスプランを検証し、根幹となるSCのあり方を検討して、第3次福祉21ピーナスプラン策定につなげていく。 ・必要な研修及び職員による研修を実施しつつ、地域では支援チームによる「第二次地域福祉行動計画」の推進支援を図っていく。 										

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井 出 弘
---------	-----------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	第3次福祉21ピーナスプランの策定・推進	事業期間	平成 28 ~ 29 年度	整理番号	03010102
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	連絡先 302

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進
				細施策	09	地域福祉行動計画推進の支援
				事務事業	01	地域福祉行動計画推進の支援事業
	予算事業名	福祉21ピーナスプラン推進事業費			会計コード	001 款 03 項 01 目 01 事業 15
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）は、茅野市が地域福祉を推進していくための「基本計画」です。社会福祉をはじめ、保健・医療・生涯学習といった関連施策を総合的に実施し、地域福祉の計画的な推進を目的としています。第2次計画（平成22年～平成29年）に引き続き、平成29年度までに第3次計画（平成30年～）を策定します。				
	現状と背景 （どうして）	第2次計画策定から6年が経過し、社会保障の基盤や福祉サービスのありかたも変わっています。計画期間8年が平成29年度で終了するため、第2次計画の検証を踏まえ第3次計画を策定し茅野市の地域福祉の推進について計画的に取り組む必要があります。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象 （直接働きかける）	福祉21ピーナスプラン策定委員、福祉21茅野委員、地区地域福祉行動計画策定委員			
		意図	行政と市民の協働により第3次福祉21ピーナスプランを策定し推進していく体制を構築する。			
	手段・方法 （どうやって）	福祉21茅野の再編成を行い、第2次計画の検証と新たな課題に対応する体制を整備し、平成28年度～平成29年度で第3次計画の策定を進めます。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		会議等開催数	開催回数	回	策定に係る福祉21茅野部会・策定委員会等の開催	20
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		第3次福祉21ピーナスプランの策定	策定率	%	第3次福祉21ピーナスプランの策定進捗状況	100

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円				1,787,585	1,400,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円				1,787,585	1,400,000	
職員数	人				1.03		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人				1.03		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	32.00	25.00	
D （ ）	活動指標	開催回数	目標	回		20	20
			実績			21	20
	達成率	%	-	-	105.00	100.00	
	-	-	目標				
実績							
達成率	%	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	策定率	目標	%		30	100
			実績			20	100
	達成率	%	-	-	66.67	100.00	
	-	-	目標				
実績							
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	第3次福祉21ピーナスプランの策定・推進	事業期間	平成 28 ~ 29 年度	整理番号	03010102
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	連絡先 302

期	目 標	実 績	課 題
第1期	計画策定業務委託契約を日本地域福祉研究所及び日本福祉大学地域ケア推進センターと行う。福祉21茅野と計画策定の進め方についての協議を行い、計画策定に着手する。	福祉21茅野幹事会を開催し、計画策定の進め方について協議	日本地域福祉研究所及び日本福祉大学地域ケア推進センターと協議し、委託契約を行う。
第2期	福祉21茅野と計画の方向性の確認と策定体制について協議を行う。計画策定業務委託契約を行う。	福祉21茅野幹事会を3回開催し、計画の方向性確認と策定体制について協議を行った。計画策定業務委託契約締結。	幹事会での協議を受けて、円卓会議兼策定委員会を開催する。
第3期	福祉21茅野円卓会議兼策定委員会を開催する。各部会の立ち上げ	福祉21茅野円卓会議と策定委員会を開催し、福祉21茅野部会再編成と計画策定の進め方について確認を行った。各部会の立ち上げに取り掛かり、順次部会開催。	部会によって立ち上げが遅れている。
第4期	福祉21茅野円卓会議兼策定委員会を開催する。各部会の立ち上げと現状と課題の整理を行う。住民及び民生委員対象のアンケートを実施	各部会を順次開催し、部会の考え方及び現状と課題の整理を行っている。策定委員会を開催し、部会の状況確認、各部会の課題のすり合わせを行った。住民及び民生委員対象のアンケートの発送・回収	2部会が立ち上げ中の状態である。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 引き続き計画策定を進めていく。	今 成 拡 充 後 果 の の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 計画審議のための茅野市地域福祉審議会委員報酬、計画書印刷のための印刷製本費が必要となる。	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>第3次福祉21ピーナスプランの策定について、福祉21茅野の幹事会で策定の方向性と策定体制・策定の進め方について協議を行いました。その結果、各専門分野について既存の部会の再編成及び新規部会を設置し、各分野の課題整理・検証等を行いながら、部会の正副部会長を構成員として策定委員会で協議する策定体制としました。策定委員会を開催し、順次部会を立ち上げて、現状と課題の整理に取り掛かっていますが、部会によっては立ち上げが遅れているところがあります。また、第5次茅野市総合計画の策定と整合性を取っていく必要がありますが、策定の進捗が遅れており、厳しいスケジュールになっている状況です。</p>															
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	引き続き総合計画との調整を行いながら、第3次福祉21ピーナスプランの策定を進める。						引き続き総合計画との調整を行いながら、第3次福祉21ピーナスプランの策定を進める。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後						
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		レ
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持						
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小						
	休 廃 止	①				休 廃 止						
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						
改 革 ・ 改 善 策	スケジュールを意識して各部会の事務局と連携しながら、部会を開催して、アンケート分析結果等も活用して、現状と課題を整理し、部会の提言をまとめ、策定委員会での第3次福祉ピーナスプランの骨子決定につなげていく。					スケジュールを意識して各部会の事務局と連携しながら、部会を開催して、アンケート分析結果等も活用して、現状と課題を整理し、部会の提言をまとめ、策定委員会での第3次福祉ピーナスプランの骨子決定につなげていく。						

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井 出 弘
---------	-----------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	茅野市行政アドバイザー（福祉分野）委嘱事業	事業期間	平成 9 ~ 年度	整理番号	03010103
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	両角香代
				連絡先	302

計	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
				施策	01	第1節 福祉21ピーナズプラン（地域福祉）の推進									
				細施策	08	第2次福祉21ピーナズプランの推進									
				事務事業	—	—									
画	予算事業名					会計コード	001	款	02	項	01	目	01	事業	08
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市民と行政が一体となって進める活動を通じて明確になってくる課題の解決を図るためには、行政としても新たな計画の策定や既存の計画の見直しにより施策を推進していく必要があり、そのために既存の手法にとらわれない新たな視点や発想の転換、また、市職員の意識改革等に対して、専門家によるアドバイスを常に受ける。													
	現状と背景 （どうして）	平成9年4月より、行政アドバイザー（福祉分野）制度を導入している。行政アドバイザーは、市の求めに応じて様々な計画策定や政策立案に随時、有効なアドバイスや情報提供をいただく必要がある。													
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民、職員、議員等											
		対象 （直接働きかける）	市民、職員、議員等												
	意図 （どんな状態にしたいか）	行政の事業に民間活力を積極的に導入し、高度化する行政課題に的確に対応していくことをめざして、市が抱える重点施策や新たな行政課題の計画や企画立案の段階から市民・職員のアドバイザーとして専門的な知識・経験や発想に基づくアドバイスをいただく。													
L	手段・方法 （どうやって）	次に掲げる事項に関し、市の求めに応じてアドバイスや情報の提供をいただくほか、必要に応じてアドバイザーとしての立場から指導、提言、会議への出席をする。 1. 茅野市の保健・医療・福祉に関する諸計画の策定と施策の推進への関与（平成26年度は、9地区（ちの地区は行政区）の第二次地区地域福祉行動計画の策定） 2. 今後の福祉社会に対応するための市職員及び市議会議員に対する指導、懇談等 3. 保健・医療・福祉に関する各種情報の収集、提供 4. 行政の他の分野における計画策定等への福祉的な見地からの間接的な関与 5. その他必要な事項													
	NA														
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値							
		活動指標	行政アドバイザー	委嘱状況	人	民間活力の導入			1						
			アドバイス・相談	アドバイス・相談件数	件				30						
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値							
			地域福祉の推進	アドバイス・相談件数	件				50						
			地域福祉の推進	アドバイスにより推進した事業・解決した課題	件				10						

実	施	状	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
						事業費等 (a)	円	1,200,000	1,200,000	1,200,000
財	源	内	訳	国庫支出金	円					
				県支出金	円					
				地方債	円					
				その他特定財源	円					
				一般財源	円	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
職	員	数	正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20		
			嘱託職員	人						
			臨時職員	人						
			合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20		
対	象	(者)数	延利用(者)数 (b)							
			単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受	益	者	負担額	市民一人当たりのコスト	円	21.00	21.00	22.00	22.00	22.00
				活動指標	委嘱状況	目標	人	1	1	1
成	果	指	標	実績	人	1	1	1	1	1
				達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
O	D	O	D	アドバイス・相談件数	目標	件	30	30	30	50
				実績	件	61	43	48	42	50
備	考	考	考	達成率	%	203.33	143.33	160.00	140.00	100.00
				—	%	—	—	—	—	—
備	考	考	考	アドバイス・相談件数	目標	件	50	50	50	50
				実績	件	61	43	48	42	50
				達成率	%	122.00	86.00	96.00	84.00	100.00
				アドバイスにより推進した事業・解決した課題	目標	件	10	10	10	10
				実績	件	6	5	5	10	
				達成率	%	—	60.00	50.00	50.00	100.00

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03040107
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	金井美代子	連絡先	82-0026
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
			施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進		
			細施策	09	地域福祉行動計画推進の支援		
			事務事業	03	-		
予 算 事 業 名				会計コード	001	款	03
				項	01	目	01
				事業	09		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）において地域コミュニティによる地域福祉の増進を重要課題として位置づけ、地域での地域福祉の推進を図るために、それぞれの地区に「地域福祉行動計画」を策定していただきました。平成22年度にはすべての地区（ちの地区は各行政区）での策定が終了し、各地区ならびに区・自治会で実践が進んでいます。						
現状と背景 （どうして）	第2次福祉21ピーナスプランの大きな柱である、より身近な地域での地域福祉の展開を図るためには、地区や行政区・自治会での福祉活動を活性化させ、継続させていくことが必要であるから。						
目 的	受益者 （誰のために）	全市民					
	対象 （直接働きかける）	地域の中で福祉活動を行っている主体組織及び個人（地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、区・自治会）					
	意 図 （どんな状態にしたいか）	地域の中で展開されている福祉活動が、計画的かつ主体的に推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えあいのしくみができること。					
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実践について窓口となって、チームとして支援をしていく。						
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		地区での実践に係る会議の開催	年地区開催回数	回			10
		区・自治会での実践に係る会議の開催	年開催回数	回	全ての区・自治会での会議の開催		98
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		計画の実践（地域福祉の実践）	実践件数	件	実施件数		
		区・自治会での地域福祉の推進体制の構築	構築数	%	構築数÷市内区・自治会数×100		100

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円							
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円							
職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30			
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合 計	人	0.30	0.30	0.30	0.30			
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-		
D （ ）	活動指標	年地区開催回数	目標	回	10	60	10	8
			実績	回	10	47	15	15
		達成率	%	100.00	78.33	150.00	187.50	-
	-	年開催回数	目標	回	98	98	98	98
			実績	回	4	5	5	5
		達成率	%	4.08	5.10	5.10	5.10	-
O （ ）	実践件数	目標	件	10	45	50	50	
		実績	件	67	50	45	46	
	達成率	%	670.00	111.11	90.00	92.00	-	
構築数	目標	%	10	10	10	11		
	実績	%	10	10	10	11		
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-	
備考								

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03040107
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	金井美代子	連絡先 82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地区での実践に係る会議等への出席	玉川地区 3回 豊平地区 1回 泉野地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
第2期	地区での実践に係る会議等への出席	玉川地区 2回 豊平地区 1回 泉野地区 0回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
第3期	地区での実践に係る会議等への出席	玉川地区 2回 豊平地区 1回 泉野地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
第4期	地区での実践に係る会議等への出席	玉川地区 1回 豊平地区 1回 泉野地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 なし。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） なし。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	
課 題	地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会での実践への意識づけを進めていくことに重点を置く必要がある。 区・自治会での推進体制の整備を進めていくことが必要。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
	前年度総合評価判定															
	前年度評価シート整理番号															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。								

最終評価年月日	平成29年4月28日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業			事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	03050108
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利恵	連絡先	82-0073
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進		
			細施策	09	地域福祉行動計画推進の支援		
			事務事業	01	地域福祉行動計画推進の支援事業		
	予算事業名			会計コード	001	款	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）において地域コミュニティによる地域福祉の増進を重要課題として位置づけ、地域での地域福祉の推進を図るために、それぞれの地区に「地域福祉行動計画」を策定していただきました。平成22年度にはすべての地区（ちの地区は各行政区）での策定が終了し、各地区ならびに区・自治会で実践が進んでいます。					
	現状と背景 （どうして）	第2次福祉21ピーナスプランの大きな柱である、より身近な地域での地域福祉の展開を図るためには、地区や行政区・自治会での福祉活動を活性化させ、継続させていくことが必要であるから。					
目 的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	全市民					
	対象 （直接働きかける）	地域の中で福祉活動を行っている主体組織及び個人（地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、区・自治会）					
	意図 （どんな状態にしたいか）	地域の中で展開されている福祉活動が、計画的かつ主体的に推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えあいのしくみができること。					
	手段・方法 （どうやって）	・市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実践について窓口となって、チームとして支援をしていく。					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		地区での実践に係る会議の開催	年地区開催回数	回		2	
		区・自治会での実践に係る会議の開催	年開催回数	回	地区内全ての区・自治会での会議の開催	32	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		計画の実践（地域福祉の実践）	実践件数	件	実施件数		
		区・自治会での地域福祉の推進体制の構築	構築数	%	構築数÷市内区・自治会数×100	100	

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.25	0.25	0.25	0.25		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
D （ ）	活動指標	年地区開催回数	目標	回	2	2	6
			実績	回	3	2	6
		達成率	%	150.00	100.00	100.00	100.00
	年開催回数	目標	回	32	32	32	32
		実績	回	0	7	8	6
		達成率	%	0.00	21.88	25.00	18.75
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	実践件数	目標	件	2	2	2	
		実績	件	2	2	2	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	構築数	目標	%				
実績		%					
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	03050108	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地区での実践に係る会議等への出席	宮川地区 1回 金沢地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
第2期	地区での実践に係る会議等への出席	宮川地区 1回 金沢地区 0回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
第3期	地区での実践に係る会議等への出席	宮川地区 1回 金沢地区 0回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
第4期	地区での実践に係る会議等への出席	宮川地区 1回 金沢地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 なし。	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） なし。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4					4					4						
課題	地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会での実践への意識づけを進めていくことに重点を置く必要がある。 区・自治会での推進体制の整備を進めていくことが必要。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																					
前年度評価シート整理番号																03050112					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策				
	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。								

最終評価年月日	平成29年4月28日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03060107
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	両角英彦
				連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 01 第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進			
			細施策 09 地域福祉行動計画推進の支援			
			事務事業 03 -			
	予算事業名	中部保健福祉サービスセンター事業費		会計コード 001 款 03 項 01 目 08 事業 04		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）では、地域コミュニティでの地域福祉の取組みを重要課題として位置付け、各地区で「地域福祉行動計画」が策定された。（この地区は各区）その後、平成26年度までに、全ての地区で2次計画が策定され、各地区、区・自治会などで取り組まれている。その取組みを支援していくことが必要である。				
	現状と背景 （どうして）	身近な地域での福祉活動の展開を図るため、地区、区・自治会などでの福祉活動を活発にし、継続していくことが必要です。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	全市民			
		対象	地域の中で福祉活動を行っている団体や個人（地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、区・自治会など）			
		意図	地域が取り組んでいる福祉活動が、主体的・計画的に行われるようになり、身近な地域での見守り・支え合いの仕組みが充実する。			
	手段・方法 （どうやって）	市と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画の推進を支援するチームを構成しました。各地区、区・自治会などとの窓口となり、地域が進めていく行動計画の実践を支援していく。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		地区での実践に係る会議、行事等への出席	年出席回数	回		12
		区・自治会での実践に係る会議、行事等への出席	年出席回数	回		13
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		地区での計画の実践	実践件数	件	実施件数	3
		区・自治会での地域福祉の推進体制の構築	構築数	%	構築数÷区域内区・自治会数×100	100

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算又は決算額）	平成29年度事業計画（予算）
実 施 状 況	事業費等 (a)	円					
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職 員 数	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員 臨時職員	人					
	合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
単 位 コ ス ト	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
	活 動 指 標	年出席回数	目標	12	12	12	12
実績			12	28	12	12	
達成率		%	100.00	233.33	100.00	100.00	
年出席回数		目標	18	18	18	13	
		実績	13	18	13	13	
達成率		%	72.22	100.00	72.22	100.00	
-	目標	-	-	-	-		
	実績	-	-	-	-		
達成率	%	-	-	-	-		
成 果 指 標	実践件数	目標	3	3	3	3	
		実績	3	3	3	3	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	構築数	目標	100	100	100	100	
		実績	100	100	100	100	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
備 考	・平成28年4月、活動指標の「区・自治会での実践に係る会議等への出席」の「目標値」を、区・自治会の実数から、18から13に変更した。						

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03060107	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	両角英彦	連絡先	82-0107

期	目 標	実 績	課 題
四 半 期 と の 管 理	第1期 地区での実践に係る会議等への出席 ちの地区1回、米沢地区1回、中大塩地区1回	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
	第2期 地区での実践に係る会議等への出席 ちの地区1回、米沢地区1回、中大塩地区1回	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
	第3期 地区での実践に係る会議等への出席 ちの地区1回、米沢地区1回、中大塩地区1回	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実
	第4期 地区での実践に係る会議等への出席 ちの地区1回、米沢地区1回、中大塩地区1回	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画推進への支援の充実

事 中 評 価

今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化特になし。	成 果 的 方 向 性	拓 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 今年度と同様に実施する。	方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩
		方 向 性	休 廃 止	①		

皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大
コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度 当年度

評 価 課 題 (C H E C K)	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定										
	1					2					3					4															
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定																
チェック					4					4					4	A															
課題	地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会などでの実践の意識付けに重点を置く必要がある。																記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 03060107														
総合評価	細 施 策 評 価 前 支援チームが構成され、各地区などの地域福祉に関する取組みが活発になってきている。 区・自治会などへの取組みを考えていくことが必要となっている。																	細 施 策 評 価 後 支援チームが構成され、各地区などの地域福祉に関する取組みが活発になってきている。 区・自治会などへの取組みを考えていくことが必要となっている。													
改革・改善の方向性(ACTION)	前年度改革・改善策の実施状況 実施済															前年度細施策評価における今後の方向性															

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	1					2				
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定
今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	拓 充	②	⑤	⑦	成 果 的 方 向 性	拓 充			
改 革 ・ 改 善 策	方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	方 向 性	現 状 維 持			
	方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩	方 向 性	縮 小			
	方 向 性	休 廃 止	①			方 向 性	休 廃 止			

皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大
コ ス ト 投 入 の 方 向 性

区・自治会などの推進体制を検討していただく。 例えば、福祉推進委員を中心に、地域課題に取り組むことや支え合いマップを作成・更新する。	区・自治会などの推進体制を検討していただく。 例えば、福祉推進委員を中心に、地域課題に取り組むことや支え合いマップを作成・更新する。
---	---

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03070112
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	伊藤 浩幸	連絡先	77-3000
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有 政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進		
			細施策	09	地域福祉行動計画推進の支援		
			事務事業	01	地域福祉行動計画推進の支援事業		
予算事業名	福祉21ピーナスプラン推進事業			会計コード	001	款	03
				項	01	目	01
				事業	09		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）において地域コミュニティによる地域福祉の増進を重要課題として位置づけ、地域での地域福祉の推進を図るために、それぞれの地区に「地域福祉行動計画」を策定していただきました。平成22年度にはすべての地区（ちの地区は各行政区）での策定が終了し、各地区ならびに区・自治会で実践が進んでいます。						
現状と背景 （どうして）	第2次福祉21ピーナスプランの大きな柱である、より身近な地域での地域福祉の展開を図るためには、地区や行政区・自治会での福祉活動を活性化させ、継続させていくことが必要であるから。						
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	全市民					
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	地域の中で福祉活動を行っている主体組織及び個人（地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、区・自治会）					
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	地域の中で展開されている福祉活動が、計画的かつ主体的に推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えあいのしくみができること。					
手段・方法 （ ど う や っ て ）	・市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実践について窓口となって、チームとして支援をしていく。						
N （ ）	活動 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		地区での実践に係る会議の開催	年地区開催回数	回			
		区・自治会での実践に係る会議の開催	年開催回数	回	全ての区・自治会での会議の開催		
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		計画の実践（地域福祉の実践）	実践件数	件	実施件数		
		区・自治会での地域福祉の推進体制の構築	構築数	%	構築数÷市内区・自治会数×100	100	

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円							
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円							
職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
対象（者）数		16	15	15	15			
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	27.00		
D （ ）	活動 指 標	年地区開催回数	目標	回	16	15	15	15
			実績	回	16	15	15	15
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	年開催回数	目標	回	98	90	90	90	
		実績	回	59	48	22	45	
		達成率	%	60.20	53.33	24.44	50.00	
-	目標	回	-	-	-	-		
	実績	回	-	-	-	-		
	達成率	%	-	-	-	-		
O （ ）	成果 指 標	実践件数	目標	件	16	15	15	
			実績	件	16	15	15	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
	構築数	目標	%	100	100	100	100	
実績		%	100	100	100	100		
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00		
備考								

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	0307012	
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	伊藤 浩幸	連絡先	77-3000

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東地区 5回 ・北山地区 6回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会等の活動推進
第2期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東地区 3回 ・北山地区 6回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会等の活動推進
第3期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東地区 6回 ・北山地区 10回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会等の活動推進
第4期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東地区 6回 ・北山地区 3回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会等の活動推進

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					3	
課題	<p>地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会での実践への意識づけを進めていくことに重点を置く必要がある。 区・自治会での推進体制の整備を進めていくことが必要。</p>																				記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定										前年度評価シート整理番号										

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。										推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。								
	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止										今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止								
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。										推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	温泉施設管理運営事業	事業期間	平成 18 ~ 年度	整理番号	03010216
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人
				連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進
				細施策	10	福祉・コミュニティ温泉の活用
				事務事業	01	温泉施設管理運営事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 01 目 08 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市民の福祉と健康増進を目的とした6つの温泉施設があり、これらの温泉施設は生活圏の階層化に配慮し、それぞれが特色を持った快適な温泉施設となっている。温泉を活用することで、疲労回復や身体をリフレッシュし、利用者の健康増進が図られている。また、地域の人々が集い交流することで、情報の収集や高齢者の孤立防止が図られるなど、福祉コミュニティ温泉として利用されている。				
	現状と背景 （どうして）	住まいから近くにあることで利用しやすい施設とするため、利用者から3km以内への設置を計画的に行ってきた。市民の余暇が増える中、健康増進と地域のふれあいの場としての福祉施設として建設された。地方自治法の改正により施設の管理運営は事業者への委託でなく指定管理者が行うことになった。これにより委託料の削減も期待できると考える。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 市民及び市外の温泉利用者			
		対象 （直接働きかける）	温泉施設			
		意図 （どんな状態にしたいか）	利用者を増加させ市民同士の交流と健康増進を図る。			
	手段・方法 （どうやって）	施設の維持補修工事、改修工事や市民の要望に応える改善工事を行う。 施設の通年的管理運営について指定管理者（民間業者）に委託し実施する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		快適な利用環境の整備	施設維持・改修工事費	円		21,000,000
		施設管理の委託	管理委託料	円		60,000,000
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	温泉施設利用者数の増	延べ利用者数	人	H22年実績 624,185人 H23年 640,994人、 H24年 645,770人、H25年 655,133人、	664,000	

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	105,564,000	108,283,392	110,242,790	95,191,370	107,684,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	105,564,000	108,283,392	110,242,790	95,191,370	107,684,000	
	職員数	人	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62	
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62		
	対象（者）数	人						
	延利用（者）数 (b)	人	598,846	601,464				
	単位コスト (a)/(b)	円	176	180	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	1,880.00	1,934.00	1,977.00	1,715.00	2,028.00	
活動指標	施設維持・改修工事費	目標	円	27,825,000	21,000,000	21,000,000	21,000,000	21,000,000
		実績	円	27,351,400	19,891,441	22,676,803	16,540,346	21,000,000
	達成率	%	98.30	94.72	107.98	78.76	100.00	
	管理委託料	目標	円	58,783,000	61,035,000	60,737,000	60,909,000	60,584,000
実績		円	56,057,174	61,443,274	61,536,540	57,807,404	60,584,000	
達成率	%	95.36	100.67	101.32	94.91	100.00		
成果指標	延べ利用者数	目標	人	664,000	664,000	664,000	664,000	664,000
		実績	人	598,846	601,464	657,863	627,662	664,000
	達成率	%	90.19	90.58	99.08	94.53	100.00	
	-	目標	-					
実績	-							
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考	平成24年度予算から実施計画を作成し規模の大きな工事の改修工事を実行的に行いました。改修工事費や管理委託料は施設の劣化に伴い増加するため、活動指標、最終目標値は年度の予算額とします。支出工事費額には25年度への繰越明許額も含めています。24年度から、延べ利用者数は、一括で指定管理をしている施設として温泉施設とカルチャーセンター合わせた数値としました。							

事務事業名	温泉施設管理運営事業	事業期間	平成 18 ~	年度	整理番号	03010216
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先
						303

期	目標	実績	課題
第1期	随時、施設の維持修繕工事を実施します。施設改修工事は予定工事の準備をするとともに緊急の改修工事に対応できるよう発注時期を検討します。	維持修繕工事を実施しました。	維持修繕工事に関する随時の対応をするとともに、緊急修繕が必要となった場合の対応を行います。
第2期	随時、施設の維持修繕工事を実施します。施設改修工事は予定工事の準備をするとともに緊急の改修工事に対応できるよう発注時期を検討します。	維持修繕工事を実施しました。アクアランド茅野プールろ過機塩素滅菌器取替工事の発注準備を行いました。	維持修繕工事に関する随時の対応をするとともに、緊急修繕が必要となった場合の対応を行います。
第3期	随時、施設の維持修繕工事を実施します。施設改修工事は予定工事の準備をするとともに緊急の改修工事に対応できるよう発注時期を検討します。	維持修繕工事を実施しました。アクアランド茅野プールろ過機塩素滅菌器取替工事を発注しました。アクアランド茅野プール暖房設備修繕工事の発注準備を行いました。	維持修繕工事に関する随時の対応をするとともに、緊急修繕が必要となった場合の対応を行います。
第4期	当初予定分と緊急に実施が必要となった施設改修工事の発注、工事施工を実施します。	維持修繕工事を実施しました。アクアランド茅野プールろ過機塩素滅菌器取替工事を実施しました。	平成29年度の施設改修工事の予定を作成する。また、緊急の施設改修工事が必要となった場合の対応を検討する。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					3					4	B
課題	市の予算約1億円を毎年管理事業費として支出しています。福祉温泉という位置付けであり、利用者は低額で利用できるようにしています。施設の経年劣化が進んでおり、サービス低下とならないように長期計画による修繕改修工事等を効果的に実施することが必要です。平成24年度から毎年同額の修繕改修工事費の予算としていますが、計画にない工事を行うことが必要な状況となっており、随時計画を見直しして工事を行います。維持管理費用が増加していることから、利用料の見直しを行った。															
CHICK	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					B
CHICK	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					03010212

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
施設維持管理に係る修繕工事等を適時に効果的に実施し、より市民サービスの向上に努めたい。緊急度重要度の判断が難しくなっていることから施設改修工事の実施にあたっては検討が必要です。	施設維持管理に係る修繕工事等を適時に効果的に実施し、より市民サービスの向上に努めたい。緊急度重要度の判断が難しくなっていることから施設改修工事の実施にあたっては検討が必要です。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 成 拡 充	今 成 拡 充
② ⑤ レ ⑦	レ
③ ⑥ ⑨	
④ ⑧ ⑩	
①	
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
施設の老朽化が進んでおり、また、温泉施設は機械設備が短命です。平成24年度からの実施計画に基づき、維持、修繕工事等を長期計画の下効率的・効果的に実施することが必要ですが、緊急の施設改修工事が必要なケースも増えており工事実施にあたっては検討が必要です。	施設の老朽化が進んでおり、また、温泉施設は機械設備が短命です。平成24年度からの実施計画に基づき、維持、修繕工事等を長期計画の下効率的・効果的に実施することが必要ですが、緊急の施設改修工事が必要なケースも増えており工事実施にあたっては検討が必要です。茅野市公共施設管理計画に基づく個別管理計画を策定します。

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	地域福祉課長	井出弘
---------	-----------	---------	--------	-----